

不二健育会 特別養護老人ホーム ケアポート板橋

鈴木菜奈(職種/介護支援専門員 /所属部署 包括)

功 績 今年度より立ち上げた新委員会「キャラバンメイト委員会」は、部署間を越えた有志のメンバーで構成されており、委員長は鈴木が担っております。小学校・中学校のキャリア教育授業において「認知症サポーター養成講座」や「ヤングケアラー」の重要性をスライドに纏め、民生児童委員さんの協力も頂きながら、直接校長先生方へ自己談判を行い、今年度は計5校より授業としてその役目を頂けることに成功しました。高齢社会の課題やサステナビリティを理解し、具体的行動に移しモデルケースとなった功績。

推 薦 者 鈴木讓(包括/管理者 主任介護支援専門員)

推 薦 理 由 ケアポート板橋の理念にあります「地域の要」を実践した事例であると思います。当日ご協力を頂きました行政職員からは、「既にチームオレンジが確立している」とお褒めの言葉を頂戴しました。板橋区における認知症施策の中核を担い、更には他包括も巻き込みながら、他地区においても同様の活動が広がって行くことを視野に入れ、今後も仲間づくりを行っていくと積極的です。今回のこの事例は理事長賞に値すると思い、推薦させていただきます。

内 容

板橋区施策における認知症課題は、コロナ禍の影響もあり、ここ3年停滞を辿っておりました。厚労省の掲げる「チームオレンジ」も形になっておらず、行政より相談を受けるも、具体的に地域に向け活動ができておりませんでした。

そのような中、ケアポート板橋では認知症サポーター養成講座講師役である「キャラバンメイト」が複数名おり、この力を地域に向け形にできないかと考え「キャラバンメイト委員会」を新たに立ち上げました。委員長に使命した鈴木は、日頃より民生委員や他事業所へのアプローチを積極的に行っており、彼女の明るく、相手の気持ちに入り込む技術、積極的な行動は、この活動に参加して下さる仲間を、瞬間に増やして行きました。

「認知症サポーター養成講座」「ヤングケアラー」の授業提案をメンバーの意見を集約しながら作成し、民生児童委員さんを巻き込み、直接包括範囲の学校へ「キャラバンメイト委員会」として説明して回りました。よくよく話を聞いていくと、学校としてもキャリア教育や福祉についての授業展開に悩みを持っておられた様で、互いの想いが合致し、小学校2校・中学校3校からのキャリア教育の授業請負となりました。

名案プログラムにて活動用のTシャツ作りを提案。絵は特養の利用者さんが書いて下さり、文字はGHの利用者さんが担当。11月16日に第一回目の出前授業を行い、7年生101名に対し、「ヤングケアラー」、9年生119名に対し、「認知症サポーター養成講座」の授業を実施致しました。協力して下さった行政関係者、民生委員さん、他事業所職員は50名を超え、大成功に終えています。年明けに予定される4校においても、学年に合わせ授業設計を行っております。